

講義コード			科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	ボキロン		(フリガナ)	ヤマシタ シュウスケ
授業科目名	簿記論		担当教員名	山下 秀輔
英文授業科目名	Bookkeeping			
基準年次(開講期)	1年(前期)		履修形態	選択
曜日/時限/講義室	月3限/浅草			
授業の方法	講義		授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2		週時間	2
授業のキーワード	簿記はビジネスの言語である。			
授業概要・目的	「簿記」は企業活動を金額の数値でとらえ、記録し、整理して報告する手段です。簿記論で簿記の原理および手続きを学ぶことは、会計、経営、金融といったビジネスのはばひろい分野を学ぶのに欠かせない知識を得ることができる。この授業では日本商工会議所の簿記検定試験「商業簿記3級」レベルの内容を学ぶ。			
到達度評価の評価項目	1、企業で用いられる経営数値が、どういプロセスで作られるのかが分かる。 2、簿記に関連する専門用語の意味が理解できる。			
授 業 計 画				
第1回	「簿記論」で学ぶもの			
第2回	簿記とは何か?			
第3回	財務諸表とは?			
第4回	勘定科目			
第5回	取引と仕分け			
第6回	帳簿記入			
第7回	決算・財務諸表作成			
第8回	取引の処理	1	(現金預金取引)	
第9回	同上	2	(商品売買、売掛金と買掛金)	
第10回	同上	3	(その他の債権債務)	
第11回	同上	4	(手形、有価証券)	
第12回	同上	5	(固定資産)	
第13回	同上	6	(資本金、収益と費用、税)	
第14回	簿記実務の流れ		(帳簿会計、伝票会計、コンピューター会計)	
第15回	決算・財務諸表作成 まとめ			
教科書・参考書等	テキスト;「簿記講義3級商業簿記」中央経済社刊 参考書;簿記ワークブック3級(商業簿記)中央経済社刊			
授業で使用する機器等	プロジェクターによるプレゼン(パワーポイント)と板書を併用する。			
予習・復習へのアドバイス	授業時間外に、必ずテキストの練習問題を復習してください。			
履修上の注意・受講条件等	スマホ等で授業に集中できない学生は、授業の妨げなので退席させる場合があります。			
成績評価の基準等	成績の評価は期末試験にて行う、但し、出席が10回未満は評価の対象にならない。			
メッセージ	経営の実務経験をもとにした授業です、皆さんが興味を持ってクラスに参加できるよう願っています。			
オフィスアワー	毎授業の前後に質問・相談をしてください。			
その他	わからないことは授業中であっても遠慮なく質問してください。			